

会員だより

忌わしい戦争を再認識して!!

桜には少し早く、梅には遅い、3月18日の春の日。VG 槻輪が、開催する「わがまち紹介」の、大阪城公園内にある「大阪国際平和センター」(通称・ピースおおさか)訪問に参加しました。



展示の画像に見入る会員

身震いを感じました。

この会館の様々な展示物や映像を見ていると、大阪大空襲で大阪一面焼け野原になり、大阪人の日常生活が壊滅してしまい、空襲下の戦火の強烈な殺戮を目のあたりして

昭和20年戦争の終わりのころ、岐阜で防空ズキンをかぶせられ、亡き母に背負われて戦火の中を逃げたこと。

不要になったメガネは有りませんか?

「VG 槻輪」では、そんなメガネの提供を皆様に呼びかけています。

メガネは、「日本スリランカ友の会関西」にお渡ししています。

そのメガネは、大阪・江戸堀にある眼鏡販売店「R-GRASS」にて度数チェックや整備をして「リフレッシュメガネ」としてスリランカで必要としている方に寄贈されています。

ご不用になったメガネは、VG 槻輪の会員にお渡し下さい。

今回、「日本スリランカ友の会関西」発行の、2021年3月発行第9号の7ページに「VG 槻輪」のこの活動に協賛している記事が掲載されましたのでお知らせします。



第9号表紙 新任スリランカ大使が信任状捧呈式に

第9号 7ページ 槻輪の「メガネリサイクル活動」に協賛して

当時私たちにはチョコレートは手に入らず貴重なお菓子(食べ物)でした。今の子どもたちには想像も出来ないほど悲惨な日常生活でした。



私が5歳、妹1歳の写真 進駐軍からもらったお菓子は分けて食べた

またこんな経験もありました。戦後5・6年、私が5・6歳のころ京都の町で進駐軍からチョコレートをもらって妹にもあげたことなど。



生後1歳の写真 叔母さんに感謝!

逃げる方向と違った道を選び走ったら戦火の風向きが変わって、一族は助かって今がある。背中の弘ちゃん、一族の命を助けたのよ」と話してくれました。

父の体に撃たれた「たま」の傷が2ヶ所あったことなど・・・ 「ピースおおさか」訪問で過去の戦争というものを深く考えることが出来ました。戦争の恐ろしさ。無意味さを・・・

だからこそ今の平和の有難さを、現在の自分の幸せをかみしめることも出来ました。亡き両親への感謝、私を取り巻く人々のあたたかさ・・・

本当にここまで生きてきた、いや生きてこられた、この年まで命を与えられたことを見つめる尊い体験でした。戦争は、もうこりこりです。

大きく育った3人の娘達は、この高槻で平和教育を受け就学旅行で広島を訪れました。摂津市に住まいる6年生の孫も広島を見学すると聞きました。この若い世代に平和の大切さを学んで平和な社会を築いて行ってほしいと心から願います。

VG 槻輪の活動、今後もし楽しみにしております。このコロナの蔓延に負わずに頑張ります。

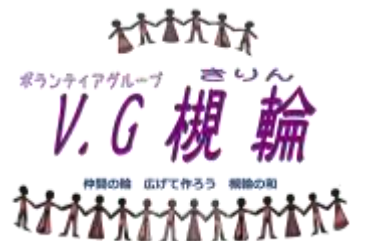
VG 槻輪の活動、今後もし楽しみにしております。このコロナの蔓延に負わずに頑張ります。

VG 槻輪の活動、今後もし楽しみにしております。このコロナの蔓延に負わずに頑張ります。

VG 槻輪の活動、今後もし楽しみにしております。このコロナの蔓延に負わずに頑張ります。

VG 槻輪の活動、今後もし楽しみにしております。このコロナの蔓延に負わずに頑張ります。

VG 槻輪の活動、今後もし楽しみにしております。このコロナの蔓延に負わずに頑張ります。



「VG 槻輪」旗のデザインです “槻輪の和”

宝角 弘枝

VG 槻輪 役員一同

※編集後記

「VG 槻輪だより」第200号【記念号】が出来上がりお届けします。昨年からのコロナの問題で自由に活動できませんでしたが、会員のご支援ご協力で活動し、会報も毎月発行でき、この5月1日発行が第200号になりました。

会員及び関係者から頂いた原稿と皆様のご協力のおかげでお届けすることが出来ます。心から御礼を申し上げます

上げます

コロナで色々制限があり、厳しい状況ですが、準備をしっかりと整え活動を行いたいと思います。これからもご支援ご協力をお願い致します。